

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和5年9月13日（水）14時00分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

佐藤上席特殊施設分析官（テレビ会議システムにて参加）、安部室長補佐、  
岩野調整係長

東京電力ホールディングス株式会社（TV会議システムにて参加）

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 敷地全般管理・対応プログラム部

1～4号周辺屋外対応PJG 担当者3名  
機械部 1～6号機械設備G 担当者2名

5. 要旨

○1/2号機非常用ガス処理系（SGTS）配管に対するγカメラによる汚染密度測定等について、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき説明があった。

○これに対して、原子力規制庁から、以下の点を指摘した。

✓ 測定エリア候補地において、人による作業を行った場合の想定被ばく線量を評価した上で、遠隔操作ロボットの使用可否等を検討すること。

✓ 遠隔操作ロボットによりγカメラを載せた台車を移動することを想定したモックアップ試験を実施する場合は、測定エリア候補地の地面の状況等を踏まえて実施すること。

○これに対して、東京電力から了解した旨の返答があった。

6. 資料

➤ 1/2号機SGTS配管のγカメラ撮影についてのご相談事項

以上